

# 令和4年度 盛岡ひがし支援学校教職員 働き方改革アクションプラン

～自分を大切に、他の人を大切に、そして、笑顔で～

盛岡ひがし支援学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

## 1 現状

- ・昨年度、時間外在校等時間が月平均30時間以上の教職員の割合19.0%(うち40時間以上3.8%、平均22.3h)、年360時間以上の教職員の割合21.1%
- ・昨年度、年次休暇を10日以上(時間年次含)取得した本務職員の割合92.3%
- ・実態の多様な児童生徒が各クラスにおり、教職員が片時も目を離せない状況がある。
- ・隣接する施設に入所する児童生徒の大半が本校に通学していることから、施設との日常的な連携を行っている。

## 2 目指す姿

- ・教職員が心身の健康を保ちながら、やりがいを感じ業務に取り組んでいる。
- ・管理職と教職員が日頃からコミュニケーションを取り合い、チームとして円滑に業務を進めている。
- ・教職員が授業準備や教材研究の時間を確保している。

## 3 取組内容

### ○ 教職員の健康管理

- ・年次休暇の計画的な取得を推進します(夏季休暇と年次休暇を組み合わせた連続した休暇取得)。
- ・教職員各自が月2回程度ノー残業デーを設定することで、個々の業務状況に合わせた定時退庁ができる環境づくりを進めます。
- ・教職員が管理職や同僚に相談しやすい環境づくりに努めます。
- ・教職員課による健康相談等を随時周知し、教職員が気兼ねなく相談できるように進めます。

### ○ 学校における業務改善の推進

- ・会議や打合せの内容を焦点化し終了時刻を設定することで効率化を図り、授業準備の時間を確保する。
- ・資料の事前配付や議題の精選を行い、会議時間を短縮し、授業準備等の時間を確保します。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として実施した行事等の見直しを踏まえ、持続可能なあり方の検討を進めます。
- ・校務等のICT活用に努めます。

### ○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・PTA事務局、同窓会事務局業務について、役割分担を明確化し、担当教職員の負担軽減を図ります。
- ・地域連携教員を複数名配置し、コミュニティ・スクールの導入を見据えた地域等との関係づくりを進めます。

## 4 目標

- ・時間外在校等時間が月平均40時間未満の教職員の割合(100%)
- ・年次休暇取得が10日以上(時間年次含)の教職員の割合(100%)
- ・教職員が各自で設定したノー残業デーを確実に実行した割合(100%)
- ・働きがいのある職場だと思える教職員の割合(100%)

令和4年5月30日 盛岡ひがし支援学校長 藤谷 憲司

### (参考)「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」(抜粋)

#### 【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの期間】 令和3年度～令和5年度までの3カ年度

#### 【プランの目標】

##### 目標1 県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者を令和3年度からゼロにする。

- (2) 時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間を除く。)が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり段階的に縮減する。

時間外 在校等時間	取組期間		
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度
月45時間超	令和2年度実績の 5割減	令和2年度実績の 8割減	ゼロ
年360時間超			

##### 目標2 業務への充実感や、健康面での安心感の向上

令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。